

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	慰霊巡拝事業			担当部局庁	社会・援護局			作成責任者		
事業開始年度	昭和51年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	事業課			吉田 和郎		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	厚生労働省設置法第4条第1項第104の2 厚生労働省組織令第108条			関係する計画、通知等	平成28年度遺骨収集帰還等派遣費の国庫補助について (平成28年3月30日厚生労働省発社援0330第33号)					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	先の大戦において亡くなられた方すべての遺骨を收容することが事実上困難なことから、国の責務として、政府の行う遺骨収集を補完し、戦没者遺族の慰藉を目的として、旧主要戦域等において政府職員及び戦没者遺族が戦没者を慰霊する。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	先の大戦において旧主要戦域となった地域で、政府職員が戦没者遺族とともに戦没者の戦没地点付近や国が建立した海外戦没者慰霊碑を訪れて、現地追悼式などを行い戦没者の慰霊を行う(一部補助事業 補助率 1/3)。									
実施方法	直接実施、補助									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	107	102	105	88	87			
	執行額	104	106	83						
	執行率(%)	97%	104%	79%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度	
	平成28年度は慰霊巡拝参加者へのアンケートで「満足」の割合が85%を超えるようにする	慰霊巡拝参加者のうち「満足した」と答えたアンケート結果の割合	成果実績	%	91	90	90	-	-	
			目標値	%	85	85	85	-	85	
			達成度	%	100	100	100	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	慰霊巡拝の実施数	活動実績	回	14	14	13	-			
		当初見込み	回	14	14	14	12			
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	X:慰霊巡拝の実施に要した経費 Y:慰霊巡拝事業派遣実績	単位当たりコスト	千円	7,429	7,571	6,385	7,333			
		計算式	X/Y		104百万円/14回	106百万円/14回	83百万円/13回	88百万円/12回		
平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	遺骨収集帰還等旅費	9	8	硫黄島慰霊巡拝で使用するチャーター機借上げ単価の見直しによる減						
	遺骨収集帰還等庁費	54	54							
	遺骨収集帰還等派遣補助金	25	25							
計	88	87								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	戦傷病者・戦没者遺族の援護、中国残留邦人等の支援を行うとともに、旧陸海軍の残務を整理すること(Ⅶ-3)								
	施策	戦没者遺骨収集事業等を行うことにより、戦没者遺族を慰藉すること(Ⅶ-3-2)								
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 28 年度	
		慰霊巡拝参加者のうち「満足した」と答える者の割合	実績値	%	91	90	90	-	-	
			目標値	%	85	85	85	-	85	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	先の大戦で旧主要戦域となった地域で、政府職員が戦没者遺族とともに戦没者の戦没地点付近や国が建立した海外戦没者慰霊碑を訪れて、現地追悼式などを行い戦没者の慰霊を行う(一部補助事業 補助率1/3)。これにより、戦没者遺族の慰藉につながるものである。									
	経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-					
		KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-
目標値			-	-	-	-	-	-	-	
KPI (第二階層)				単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善

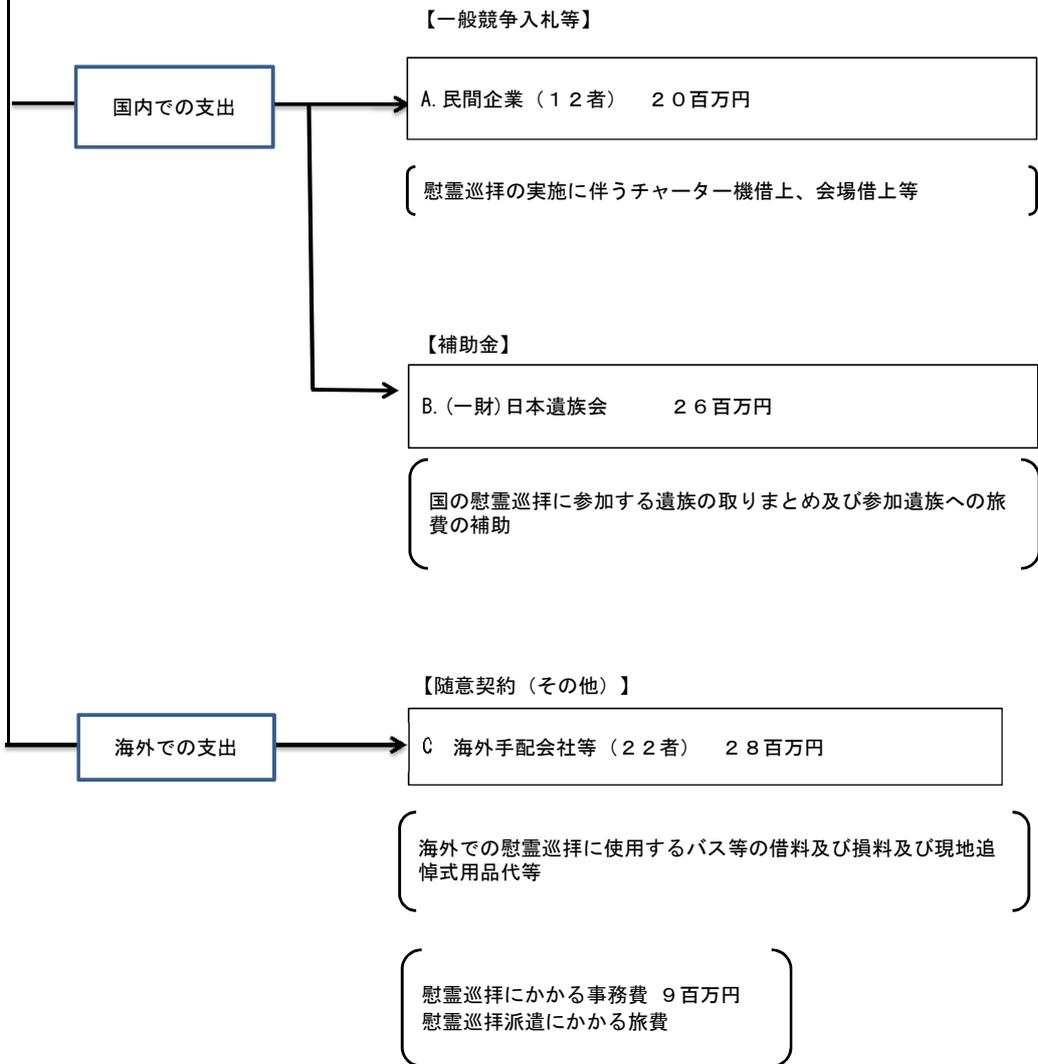
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	未だ113万柱もの遺骨が帰還していない状況である中、海外に残されたままの戦没者の慰霊や遺骨が戻らない関係遺族の慰藉として行う本事業はニーズが高い。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国が実施する遺骨収集事業を補完するものである。また、国の巡拝団が関係者の代表として、巡拝地域の全戦没者を対象とした合同追悼式を実施している。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	海没遺骨や相手国の事情等から遺骨収集ができない地域の戦没者の慰霊や関係遺族を慰藉するものである。未だ113万柱もの遺骨が帰還していない状況であり、優先度は高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	一般競争入札により、競争性の確保に努めているが、一部について少額及び外国での調達があるため、予算決算及び会計令に基づき随意契約を行っている。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	なお、一者応札となった契約については、 ・硫黄島慰霊巡拝実施に伴うチャーター機借上げ 必要な人員、設備が確保できるよう、調達手続きの時期を前倒しすることにより参加希望者の準備期間の確保に努める。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	・通訳雇上げ・文書翻訳 公告期間の延長、翻訳の想定分量の見直し、前回資料要求のあった業者に対する声かけを行い、競争性の確保に努める。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	補助金対象者の範囲を定め適切に実施しており、負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	事業の実績を踏まえ、必要な経費について毎年見直しを行っている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業実施にあたり必要なものだけに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	硫黄島の受け入れ態勢が整わなかったことから当初見込みより実施数が少なくなったため。
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	実績は目標を達成している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△	硫黄島の受け入れ態勢が整わなかったことから当初見込みより実施数が少なくなっているが、その他の巡拝については当初見込みと同様の規模で実施している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	事業の趣旨・役割はそれぞれ以下の通りである。 ・慰霊巡拝事業…国において遺骨収集事業を実施しているが、未だ海外に多く眠る戦没者を国として慰霊するために、政府慰霊巡拝団を旧戦域に派遣し、戦没者の慰霊を行う。 ・慰霊友好親善事業…戦没者遺児が旧戦域の人々と戦争犠牲者の遺族という共通の立場から友好親善を図り、慰霊事業に対する相手国の理解を深めることで、広く戦争犠牲者の慰霊追悼を行い、恒久平和を願う。	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	厚生労働省社会・援護局	713	慰霊友好親善事業		
点検・改善結果	点検結果	平成27年度の慰霊巡拝事業は、受け入れ態勢等が整わず、当初見込みより1件実施数を減らしたため、不用が発生しているが、それ以外の地域の慰霊巡拝については、当初計画とおりに実施できている。 なお、平成23年度より、可能な限り競争的な選定となるよう補助金の交付対象を公募により選定する方式へ改めている。			
	改善の方向性	硫黄島以外の慰霊巡拝については予定通り行われていることから、引き続き、慰霊巡拝事業に必要な経費について精査し、適切に事業を実施していくこととする。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
一部改善の内容	不用額については、要因を分析し必要に応じて予算に反映させること。その上で、執行率の改善を図ること。また、事業の実施に当たっては、引き続き、慰霊巡拝事業に必要な経費について精査し、適切な事業実施に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	不用の要因については、渇水等の理由で硫黄島の慰霊巡拝が実施できなかったため。28年度予算で硫黄島の慰霊巡拝について計画件数の見直しを実施、29年度概算要求では更に渡島に要する航空機の借上単価について見直しを行った。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	462	平成23年度	420・0065	平成24年度	366・0909
平成25年度	731	平成26年度	729	平成27年度	745

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

【平成27年度実績額】

厚生労働省 83百万円



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)日本航空			B.(一財)日本遺族会		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
(株)日本航空	チャーター機借り上げ	10	補助金	慰霊巡拝に参加する遺族への旅費の補助	25
計		10	計		25
C.PNG JAPAN			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
借料及び損料	車両等の借上げ料	7			
計		7	計		0

